

平成 23 年 9 月 29 日

日本体育学会第 62 回大会 測定評価専門分科会企画「優秀発表」選考結果について

将来検討委員会  
委員長 稲垣敦  
担当 佐藤進

今年度から将来検討委員会企画として実施致しました優秀発表の選考結果がまとまりました。

日本体育学会第 62 回大会における測定評価専門分科会での発表演題数は 43 演題（ポスター発表 24、口頭発表 19）でした。審査員は口頭発表およびポスター発表それぞれ 5 名とし、測定評価学会理事および評議員から選出致しました（口頭発表は原則、座長の先生方 5 名に依頼）。

先の E 理事会でご承認頂きました選考規定（下記抜粋）に則り集計したのち、集計結果を将来検討委員で確認し選考致しました。

**※選考および集計規定**

- ・演題ごとに得点を算出し、口頭発表およびポスター発表における、得点の上位 2 演題を優秀発表とする。
- ・第 1 位に 2 点、第 2 位に 1 点を与え、投票者数で除した値を評価ポイントとする。  
（発表者・共同研究者となっている演題、発表内容を確認できなかった演題には投票できない）
- ・評価ポイントが同点であった場合、第 1 位の投票数が多い演題を優先する。  
それでも決定できない場合は、発表演題数の 1 割を超えないことを原則とし、将来検討委員が優秀発表の最終決定をする。

上記規定に基づく審査の結果、下記 4 演題を日本体育学会第 62 回大会測定評価専門分科会優秀発表として報告致します。

<集計結果および優秀発表演題>

**口頭発表**

- 第 1 位：佐藤 進（金沢工業大学）  
演題「地域高齢者の転倒リスクパターンと転倒発生率」  
評価ポイント：1.0（5 点/5=1.0）
- 第 2 位：青柳 領（福岡大学）  
演題「行動観察による幼児の運動技能発達の順序構造分析」  
評価ポイント：0.8（3 点/4=0.8）

**ポスター発表**

- 第 1 位：山田 庸（徳島ヴォルティス）  
演題「育成年代サッカー選手における爆発的パワーテストによる回帰面評価の妥当性」  
評価ポイント：0.8（4 点/5=0.8）
- 第 2 位：國土 将平（神戸大学）  
演題「項目反応理論を用いた小学生におけるテニスボール投げ動作獲得の順序性の検討」  
評価ポイント：0.6（3 点/5=0.6）

以上